

プログラム名 (40字以内)	現地でする石垣島プロジェクト — 地域課題の最前線から、持続可能な社会を構想する —		
団体名/所属	本学学生(担当教員:宇宙線研究所・塔 隆志准教授)		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	10~12人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2027/3/17から3/24までのいずれかの予定	主な活動予定場所	沖縄県石垣島
プログラム実施の目的	<p>本プログラムは、沖縄県石垣島をフィールドに、観光業、農業、海洋環境保全など、地域が直面する複合的な社会課題を実地で学び、持続可能な社会の形成に向けた解決策を構想・実践することを目的とする。地域住民や行政、教育機関との対話や協働を通じて、学生が課題を自らの問題として捉え、学術的知見と現場の実情を結びつけながら、公共性の高い視点で課題解決に取り組む力を養う。また、本プログラムを通じて、学生が社会課題に対する当事者意識を高め、地域社会への理解と責任ある関与の姿勢を身につけるとともに、大学として地域と協働し知見を還元することで、持続可能な地域社会の構築に寄与することを目指す。</p>		
具体的な内容(800字程度)	<p>本プログラムでは、沖縄県石垣島をフィールドに、地域社会・産業・環境・文化を横断的に捉える実践型フィールドワークを行う。学生が現地に滞在し、人や現場と直接関わりながら、地域課題への理解を深めるとともに、自身の専門や関心を社会に接続する経験を得ることを目的とする。主な内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業、農業、海洋環境などをテーマに、石垣島の地域課題を現地調査や対話を通じて多面的に理解するフィールドワーク ・地域住民および行政関係者との意見交換を通じた、地域の現状や将来像に関する理解の深化 ・サンゴ礁保全活動や海岸清掃等への参加を通じた、自然環境と人間活動の関係性についての実践的学習 ・農業・畜産業の現場を訪問し、地域産業の持続可能性や担い手に関する課題を学ぶ現地調査 ・石垣島で開催される国際映画祭への協力を通じ、文化・芸術活動が地域社会や国際交流に果たす役割を考察 ・現地高校生との交流および協働を通じた、地域課題をテーマとする共同レポートの作成 ・世代や立場の異なる参加者との協働を通じた、対話力・協働力の涵養 ・大学での学びやデジタル技術等を活かした、地域における課題解決の可能性に関する検討 ・活動全体を振り返り、得られた知見を活動報告書としてまとめる <p>本プログラムを通じて、学生が地域社会と向き合う中で課題を自分事として捉え、今後の学修や進路選択にもつながる視点を獲得することを目指す。</p>		
【総額】参加するための費用	75,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	15,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	レンタルバス代6,000円/1名 食費3,000-4,000円/日 船代4,000-5,000円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://drive.google.com/file/d/1jPY5_PSO5Lzpj071_zXd_fmVFLK3Q1i/view?usp=sharing		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		